

令和6年7月19日
消 防 庁

「令和6年度 救助技術の高度化等検討会」の開催

大規模土砂災害時における救助能力の高度化を目的として、令和6年度救助技術の高度化等検討会を開催し、消防機関が土砂災害現場において、よりの確かつ効率的な救助活動を実施するための検討を行っていくこととしましたのでお知らせします。

1 背景・目的

近年、自然災害が頻発する中、特に令和3年静岡県熱海市土石流災害では大雨による大規模な土石流や、令和6年能登半島地震では地震による大規模な土砂崩壊が発生し、甚大な被害とともに多くの人命や財産が犠牲となりました。

大規模な土砂災害は、救命のため迅速な活動が求められる一方、活動が広範囲に渡ることや二次災害の発生危険といった困難性が伴う活動ともなります。

そのため、要救助者をより安全・確実・迅速に救助するための手法や日頃の実戦的な教育訓練、関係機関との効果的な連携などについて検討し、救助技術の高度化を図ろうとするものです。

2 主な検討事項

「大規模土砂災害時における救助能力の高度化」

- (1) 指揮者の判断支援
- (2) 安全管理体制の強化
- (3) 救出活動の強化
- (4) 関係機関との連携強化
- (5) 教育・訓練の推進

3 スケジュール

令和6年7月31日（水）に第1回を開催し、以降順次開催する予定。

4 構成員等

別紙のとおり



<連絡先>

消防庁国民保護・防災部参事官付

担当：鈴木補佐、志水係長、戸田事務官

TEL：03-5253-7507(直通)

令和6年度 救助技術の高度化等検討会 名 簿

(敬称略、五十音順)

【構成員】

<有識者>

- ・岩男 忠明 国土交通省 水管理・国土保全局 砂防部保全課 土砂災害対策室長
- ・長田 亜弥 一般社団法人 日本建築構造技術者協会
株式会社東急設計コンサルタント所属
(国際緊急援助隊救助チーム技術検討員)
- ・海堀 正博 広島大学 防災・減災研究センター長
- ・笠井 美青 北海道大学 農学研究院 基盤研究部門 森林科学分野教授
- ・小林 恭一 危険物保安技術協会 特別顧問 (元東京理科大学 総合研究院教授)
- ・玉手 聡 独立行政法人 労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所
労働災害調査分析センター長
- ・西村 博英 一般社団法人 全国建設業協会 委員
(宮城県建設業協会専務理事)
- ・吉田 悦教 千葉経済大学経済学部 特任教授

<消防本部>

- ・石原 新一郎 名古屋市消防局 本部機動部隊長
- ・川村 亮太郎 東京消防庁 警防部 救助課長
- ・川本 春樹 広島市消防局 警防部 警防課 消防機動担当課長
- ・喜多 光晴 京都市消防局 警防部 警防課長
- ・田中 智也 大阪市消防局 警防部 司令課 東方面隊長

【事務局】

消防庁国民保護・防災部参事官付